

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 競技服装について
 - (1) 選手のユニフォームは（ジャージ、パンツ、ソックス）は、形状、色、及びデザインをチームで統一する。
 - (2) ユニフォームからはみ出すスパッツ、アンダーウェア等は、チームで統一されていることが望ましい。
2. 選手の健康と安全に配慮して、テクニカルタイムアウトは、給水と健康観察のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水をさせなければならない。
3. 靴紐を結ぶ場合は、試合進行の妨げとならぬよう、ボールデット間に速やかに結ぶ。またレフェリーに申し出る必要はない。
4. 試合中、ボールを使用する練習が認められるのは、セット間においてエンドライン後方のフリーゾーンのみとする。ボールカゴは、ウォームアップエリア横（ベンチと反対側）に置く。
5. 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの範囲内において、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えても良い。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。
6. ワイピングについて
 - (1) 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。
 - (2) 公式練習終了後、タイムアウト及び、セット間には、選手またはチームスタッフがモップを使用してコート内とサービス・ゾーンのワイピングを行う。
7. チーム審判（ファーストレフェリー・セカンドレフェリー、ラインジャッジ・点示・スコアラ（簡易 IF））について
 - (1) 役員のサポートのもと、男子・女子ともに準々決勝まで、混合の準決勝までは該当チームから1名ずつファーストレフェリー・セカンドレフェリーを行う。
 - (2) 服装は、試合時の服装に準じる。チーム名の入った吊り下げ名札を着用する。
 - (3) 審判に必要な用具を準備する。（トスコイン、筆記用具、腕時計）
 - (4) ラインジャッジ（4名）と点示（2～4名）とスコアラ（1～2名）は各チームで行う。

	第1試合	第2試合以降	準決勝(男子・女子)	決勝・代表決定戦
	該当コート第2試合目のチーム	該当コート直前の試合	該当コート直前の試合	大会役員で行う
ファーストレフェリー	プログラム番号が前のチーム	負けチームから1名	大会役員で行う	
セカンドレフェリー	プログラム番号が後のチーム	勝ちチームから1名	負けチームから1名	
ラインジャッジ 点示・スコアラー	両チームから4名ずつ	負けチームから6~8名	負けチームから6~8名	

8. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 審判はマスクを着用する。
- (2) ファーストレフェリー・セカンドレフェリーともに電子ホイッスルを使用する。
- (3) スコアラーには筆記具を持たせる。
- (4) 監督・キャプテンのサイン用ペンは、チームで準備する。
- (5) ラインジャッジフラッグは、チーム所有のものを使用してよい。
- (6) ラインジャッジ・点示・スコアラーを務めた者は、試合終了後、ラインジャッジフラッグ・得点板・椅子等を消毒する。